

高等学校教材

新编

基础日语

(修订版)

日语专业用

第四册

编 著

简佩芝 孙宗光 徐昌华

赵华敏 曲 维

修 订

孙宗光 赵华敏



上海译文出版社

高等学校教材

新编

基础日语

第四册

(修订版)

日语专业用

编 著

简佩芝 孙宗光 徐昌华
赵华敏 曲 维

修 订

孙宗光 赵华敏

上海译文出版社



图书在版编目(CIP)数据

新编基础日语(修订版). 第4册 / 简佩芝等编. 孙宗光等修订—修订本. 上海:
上海译文出版社, 2005. 11

高等学校教材

ISBN 7-5327-3781-0

I. 新... II. ①简... ②孙... III. 日语—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 072319 号

本书中文简体字专有出版权

归本社独家所有, 非经本社同意不得连载、摘编或复制

高等学校教材

新编基础日语(修订版)

(日语专业用)

第四册

编著 简佩芝 孙宗光 徐昌华

赵华敏 曲 维

修订 孙宗光 赵华敏

上海世纪出版集团

译文出版社出版、发行

网址: www.yiwen.com.cn

上海福建中路 193 号

易文网: www.ewen.cc

全国新华书店经销

上海江杨印刷厂印刷

开本 787×1092 1/32 印张 24.25 插页 2 字数 503,000

2005 年 11 月第 1 版 2005 年 11 月第 1 次印刷

印数: 0,001—6,000 册

ISBN 7-5327-3781-0/H·697

定 价: 31.00 元

本书如有缺页、错装或坏损等严重质量问题, 请向承印厂联系调换

前 言

高等学校教材《新编基础日语》，是为了贯彻《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》，由第二届全国高校外语教材编审委员会日语组委托北京大学、大连外国语学院和辽宁师范大学三校部分教师合作编写的。全书共四册（每册 15 课），供日语专业一、二年级（或基础阶段）学生使用。本书为其第四册。

每册内容包括课文（会话、文章）、生词、注释（功能意念、语法）、练习及必要的日语小知识等辅助材料。

语言交际离不开语境和语篇。本教材的编选就贯串了语篇特征。注释中始终以功能意念为主导，兼顾语法的系统性，力求把二者有机地结合起来。编选课文时，不仅要求句子合乎语法，更重要的是考虑语篇结构，力求语言连贯、自然、生动。本书既注重语言交际能力的培养，又重视语言知识的传授，以使学生打好坚实的语言基础。

编写方法，是由编者分工撰写后，经集体多次讨论，最后由审订者统稿。

本书承日本国际交流基金资助，具体由辽宁师范大学承办，并得到上海译文出版社及广大日语界同人的积极支持，谨在此一并致谢。

由于编者的经验及水平有限，缺点和错误在所难免，敬请读者批评指正。

编 者

1995 年 2 月

修 订 说 明

高等学校教材《新编基础日语》(第四册)自 1995 年 11 月第一次印刷以来已近 10 年。在这 10 年的使用过程中,深得广大使用者的厚爱,我们不断得到了反馈的信息。为了满足使用者的需要,应上海译文出版社的要求,受原编著者的委托,我们对全书做了修订和补充。具体情况如下:

1. 更正了原书中的错误及不妥之处。
2. 对已经不合时宜的部分内容作了修改、更新。

虽然我们尽了最大努力,力求使教材更加完善。但由于时间和水平有限,加之局部的修订,很难做到大幅度的改动,所以恐仍有很多不尽如人意的地方,望使用者见谅,并给予批评指正。

孙宗光 赵华敏

2005 年 6 月

第四册说明

1. 本书为《新编基础日语》第四册,供大学日语专业二年级第二学期使用。全书共 15 课(16 课~30 课)。每课包括课文、生词、注释(含功能意念、语法)、练习(含会话、阅读文),并附有课外读物、日文歌曲、功能意念索引、总词汇表和本册语法项目索引。

2. 编写方法:由编者集体搜集资料,选定课文后分工撰写,经反复交换意见,多次修改,最后统稿和审订。

3. 本册分工:简佩芝教授负责编写练习,安排课外读物和日文歌曲,并负责全书统稿;孙宗光教授负责通读、选定课文、咨询;徐昌华教授负责全书总体设计、语法注释,编制本册语法项目索引;赵华敏教授负责功能意念注释,编制本册功能意念索引;曲维教授负责词汇注释,编制总词汇表。

4. 本册有 15 课课文和练习中的阅读文,以及最后的课外阅读,除个别词语根据教学需要作了调整外,全部使用原文。在此,我们向本册所使用的原文的作者表示衷心感谢。其中有:

(以出现先后为序)

- ①《小 5 国語研究とまとめ》(教学研究社)
- ②《まとめと研究・国語 64 年度用全面改訂〈教師用〉》(精華堂)
- ③《中級日本語》(東京外国語大学留学生日本語教育センター)
- ④《小学標準考查国語 6》(受験研究社)
- ⑤《新しい国語 2》(東京書籍)
- ⑥《光村図書版準拠中学国語 1 年中間・期末対策テスト》(新興出版社)
- ⑦《完全達成シリーズ中 1 国語》
- ⑧《君の可能性・なぜ学校へ行くのか》(斉藤喜博,筑摩書房)
- ⑨《国語 2》(光村図書)
- ⑩《国語 1》(光村図書)
- ⑪《日本文明 77 の鍵》(梅棹忠夫編,創元社)
- ⑫《光村図書準拠中学国語 I ニューステップ問題集》(光村図書)
- ⑬《上級日本語》(東京外国語大学附属日本語学校)
- ⑭《中学 1・2 年の総復習国語基礎力強化テスト》(受験研究社)

- ⑮《完全達成シリーズ中2国語》
- ⑯《コンテンプラリー日本語中級》(奥村訓代、松本節子編, 桜楓社)
- ⑰《中学1年国語学力考查》(教学研究社)
- ⑱《新しい国語3》(東京書籍)
- ⑲《編集手帖》(読売新聞 1994、12、13)
- ⑳《高校入試パスポート国語長文2 文学的文章》(文理)
- ㉑《長文総合問題集》(専門教育出版)
- ㉒《見れば見るほど……》(加賀乙彦, 中央文庫)
- ㉓《実力練成テキスト中学国語3》
- ㉔《中学3年国語学力考查》(教学研究社)
- ㉕《実戦書き込みテスト高校入試国語》(文英堂)
- ㉖《公園通りの午後》(渡辺淳一, 集英社文庫)
- ㉗ 季刊誌《日本》1994年21号(国際交流研究所)
- ㉘《ボッコちゃん》(星新一, 新潮文庫)
- ㉙《新訂版現代の国語2》(三省堂)
- ㉚《国語2》(光村図書)
- ㉛《新訂中学国語3》(教育出版)
- ㉜《新訂版現代の国語3》(三省堂)

5. 在本册编写过程中,承蒙在北京大学任教的日本专家冲森卓也教授参加改稿、定稿工作,还得到在辽宁师范大学任教的日本专家高岛康子女士的热忱帮助,并经高等学校外语专业教学指导委员会委员崔春基教授审阅通过。谨在此一并表示衷心的感谢。

编 者

目 録

第 16 課

わが身をつねって人の痛さを知れ /1

本文 /1

新しい言葉 I /2

注釈 /3

1. コミュニケーション機能 /3

2. 文法 /5

練習 /7

新しい言葉 II /15

第 17 課

抗議する義務 /19

本文 /19

新しい言葉 I /20

注釈 /21

1. コミュニケーション機能 /21

2. 文法 /23

練習 /24

新しい言葉 II /29

第 18 課

「こんにちは」の用法 /33

本文 /33

新しい言葉 I /36

注釈 /37

1. コミュニケーション機能 /37

第
19
課

2. 文法 /39

練習 /41

新しい言葉 II /48

独学のすすめ /53

本文 /53

新しい言葉 I /54

注釈 /56

1. コミュニケーション機能 /56

2. 文法 /58

練習 /60

新しい言葉 II /68

第
20
課

字のない葉書 /73

本文 /73

新しい言葉 I /74

注釈 /77

1. コミュニケーション機能 /77

2. 文法 /78

練習 /81

新しい言葉 II /89

第
21
課

高度経済成長時代 /95

本文 /95

新しい言葉 I /97

注釈 /100

1. コミュニケーション機能 /100

2. 文法 /102

練習 /103

新しい言葉 II /110

第
22
課

人は何のために生きるのか /114

本文 /114

新しい言葉 I /117

注釈 /120

1. コミュニケーション機能 /120

2. 文法 /121

練習 /124

新しい言葉 II /131

第
23
課

暮しの根とは /135

本文 /135

新しい言葉 I /136

注釈 /137

1. コミュニケーション機能 /137

2. 文法 /139

練習 /140

新しい言葉 II /148

第
24
課

「あいさつ」にはお国柄があらわれる /154

本文 /154

新しい言葉 I /156

注釈 /158

1. コミュニケーション機能 /158

2. 文法 /160

練習 /162

新しい言葉 II /172

第
25
課

障子の破れに学ぶもの /176

本文 /176

新しい言葉 I /177

	注釈 /179
	1. コミュニケーション機能 /179
	2. 文法 /181
	練習 /182
	新しい言葉 II /190
第 26 課	蘭 /196
	本文 /196
	新しい言葉 I /197
	注釈 /199
	1. コミュニケーション機能 /199
	2. 文法 /200
	練習 /202
	新しい言葉 II /210
第 27 課	ストレスと人間関係 /217
	本文 /217
	新しい言葉 I /218
	注釈 /221
	1. コミュニケーション機能 /221
	2. 文法 /222
	練習 /224
	新しい言葉 II /232
第 28 課	夜空を見上げての嘆き /237
	本文 /237
	新しい言葉 I /238
	注釈 /240
	1. コミュニケーション機能 /240
	2. 文法 /242
	練習 /245

	新しい言葉 II /255
第 29 課	眼ざまし時計 /262
	本文 /262
	新しい言葉 I /263
	注釈 /265
	1. コミュニケーション機能 /265
	2. 文法 /266
	練習 /268
	新しい言葉 II /275
第 30 課	雪、そして故郷 /281
	本文 /281
	新しい言葉 I /283
	注釈 /285
	1. コミュニケーション機能 /285
	2. 文法 /287
	練習 /289
	新しい言葉 II /299
課 外 読	一、日本のとんち話:「毒なし」と「茶わん」 /307
	二、変な薬 /309
	三、なぜ「辞書」は「ひく」なのでしょう /311
	四、日本語と国際交流 /314
	五、夏の葬列 /318
	六、日本人の表現 /324
日 本 語 の 歌	この道 /328
	手のひらを太陽に /329
	花 /331
	旅愁 /333

付
録

椰子の実	/334
琵琶湖周航の歌	/336
コミュニケーション機能のインデックス	/337
文法項目のインデックス	/342
新しい言葉のインデックス	/345



第 16 課

わが身をつねって人の痛さを知れ

秋山さち子

本文

わたしがこのことわざを取りあげたのは、次のようなことがあったからです。
一週間ほど前のことです。

わたしが勉強していて、消しゴムを使おうとしたら、ありません。あちこちさがしましたが、どこにも見あたりません。もしかしたら——と思って妹の筆入れを見ますと、ちゃんとその中にありました。

「困るじゃないの、勝手に持って行っては。」

と、わたしが妹を呼んで言うと、妹は、あつという顔をしましたが、すぐ、
「ちょっと借りただけよ。」

と言いました。

「借りた物なら、ちゃんともとの所に返さなければだめよ。」と、わたしがしかると、妹は、何か言いたそうにしていました。

「どうして率直にあやまらないの。」

と、わたしは、続けて言いました。妹は、びくつとしたようでしたが、まだじっと黙っています。わたしは、妹をいたわる気持ちもわすれて、

「ひきょうよ。自分のしたことを悪いと思わないの。そんなことでいいの。」

と、きつく言いました。妹は、泣きそうな顔をしていました。

それからしばらくの間、わたしは、自分の感情におし流されて、妹がどんな気持ちで黙っているのか、考えることができなくなっていました。それで、妹が答える余地のないほどに、興奮していろいろと言ってしまいました。

たった消しゴム一つのことです。ちょっと気を静めて考えれば、何でもないことだっ

たでしょう。わたしは、泣きだした妹を見て、はじめて言いすぎたことに気がつきました。なんとかしなければ——と思いましたが、とうとう何も言い出せないでいるうちに、妹は、そのまま行ってしまいました。

その日の夕方のことです。

わたしがふろをたいていると、母が、

「さち子、かき、どうしたの。」

とききました。わたしは、はっとしました。学校に置いてきたことをすぐ思い出しました。この前一度なくして、買ってもらったばかりなのです。

「またなくしたらどうするの。早く行って持っていらっしゃい。」

母は、重ねて言います。わたしは、少し暗くなった外を見ていましたが、だんだん心細くなってきました。かげで、妹がいい気味だと思っているに違いないと思うと、ますます悲しくなってきました。

その時です。妹が、わたしに言いました。

「さっきは、ごめんね。ねえさん、わたし、いっしょに行つてあげるわ。」

わたしは、ほっとすると同時に、恥ずかしい思いでした。わたしは、「ありがとう。」と妹の顔を見て、やっとひとこと言いました。そうして、妹といっしょに暗い道をかけだしていきました。かけながら、もう二度とさっきのようなことは言わないようにしようと、わたしは、自分の心に誓いました。

「相手の立場に立って、ものごとを考える。」ということは、たいへん難しいことです。しかし、この心がけが、人と人の心を結びつけ、平和な世の中を作る基になるのではないのでしょうか。わたしは、自分のしたことを反省してこのことわざの意味がよく分かるように思えてきました。

新しい言葉 I



わが身(我がみ)①

〈名〉

自己的身体; 自己

つねる(く抓る)②

〈他五〉

掐, 拧

秋山さち子(あきやま幸子)⑤

〈名〉

(人名) 秋山幸子

取りあげる(とり上げる)①④	〈他下一〉	提起,提出;拿起,举起;夺取,剥夺;没收,征收;采纳
見あたる(み当たる)①③	〈自五〉	找到,看到,看见
筆入れ(ふでいれ)④①	〈名〉	铅笔盒,笔套,画笔盒,笔筒
言い返す(いいかえす)③	〈自他五〉	回嘴,顶嘴,回答;反复说
びくっと②①	〈副・自サ〉	吓一跳
ひきょう(卑怯)②	〈形動〉	卑鄙;懦弱,懦弱
きつい①	〈形〉	严厉;紧;累
おし流す(押しながす)④	〈他五〉	冲,冲走,冲击,冲垮
たった①	〈副〉	只,仅
気を静める(きをしずめる)	〈連語〉	冷静,镇定心神
何でもない(なんでもない)	〈連語〉	算不了什么,没关系;什么也不是
とうとう①	〈副〉	终于,到底
ふろをたく(風呂をく焚く)	〈連語〉	烧洗澡水
はっと①①	〈副・自サ〉	(因意外而)吃惊貌;突然想到(起)
かげ(陰)①	〈名〉	背后,后面;背阴处,日阴
いい気味(いいきみ)①	〈名〉	活该,痛快,开心
誓う(ちかう)②①	〈他五〉	起誓,发誓,宣誓
心がけ(こころがけ)①⑤	〈名〉	留意,留心;用心,努力;为人
結びつける(むすび付ける)⑤	〈他下一〉	结合,联系;拴上,系上
世の中(よのなか)②	〈名〉	世上,世间,社会;时代
反省(はんせい)①	〈名・他サ〉	反思,反省

注 釈

1. コミュニケーション機能

(1) 因果关系

☆ わたしがこのことわざを取りあげたのは、次のようなことがあったからです。

意为“我之所以提起这个谚语,是因为发生了下面的事情”。“～のは～からだ”是表

示因果的句式,“のは”前接事情的结果,并使句子名词化;“からだ”则表示事情的原因。相当于汉语的“之所以……是因为……”。例如:

- あの人に友達がい**ないのは**、いつも人の悪口を言う**からだ**。
- 洗濯ものがすぐ乾く**のは**空気が乾燥している**からだ**。
- 果物を作っている農家が大変困っている**のは**とれすぎて、市価が下がっている**からだ**。
- 親の教育についての関心が高まっている**のは**子供の将来に危機感を持っている**からだ**。

(2) 吃惊

☆ わたしが妹を呼んで言うと、妹は、**あつという顔を**しましたが、……。

意为“我叫来妹妹一说,她吓了一跳,可……”。“あつという顔をしました”是“露出一副吃惊的神色”的意思。例如:

- 彼女は持っていた財布の中身を見て、**あつという顔を**した。
- 彼は帰国の日が明日だと聞かされると、**あつという顔を**した。

☆ 妹は、**びくつとした**ようでしたが、まだじつと黙っています。

意为“妹妹虽然好像吓了一跳,但还是没有说话”。“びくつとした”是吃惊、害怕的意思。例如:

- 「火事だ」という叫び声を聞いて、**びくつとした**。
- 大金がなくなっているのに気づいて、**びくつとした**。

☆ わたしは、**はつと**しました。

意为“我吃了一惊”。“はつと”多用于突然意识到什么事情而感到吃惊。多以“はつと息をのむ”、“はつと我に返る”的形式出现。

- 自動車が急にそばを通ったので、**はつと**した。
- 急に肩をたたかれて、**はつと**我に返った。
- こわい夢を見たので、**はつとして**目が覚めた。

(3) 道歉和应答

☆ さっきは、**ごめん**ね。

意为“刚才,实在对不起”。“ごめん”有“请原谅”、“对不起”等意思。后面常接“なさい”,态度显得更加恭敬。例如:

<<  >>>>